

**事業所名** グループホーム 蔵の家

日付 平成 21 年 7 月 13 日

**評価機関名** 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 健康運動指導士  
実務経験10年以上

ホームヘルパー2級  
実務経験3年以上

**自主評価結果を見る** (評価内容と一緒に添付しています。)

**評価項目の内容を見る**

**事業者のコメントを見る**(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

**講評**

全体を通して(特に良いと思われる点など)  
(記述式)

施設は、国道に程近く、スーパーマーケットや小学校がランドマークとなる人口の密集した街の中にある。経営母体である社会福祉法人は特別養護老人ホーム、ケアハウス、保育園、デイサービスセンター、ホームヘルプステーションなど多くの機能を有し、長年に渡って地域社会の福祉を担っている。

鉄骨二階建てで、一階と二階が各ユニットに分けられており、各階とも二方向に大きな窓がある。二階には天窓があって室内は明るい。ホールには入居者の活けた花や観葉植物が飾られていて、入居者や訪問者に潤いを与えている。

職員は入居者に明るく接し、楽しい会話も多く、事業所内は笑顔が絶えない。入居者は外出が好きで、ホーム専用の車で買い物、外食、施設見学など職員と一緒に頻繁に出かけている。車イスを使用している入居者も、部屋にこもることなく職員の言葉かけによって、一緒に外出を楽しんでいることで、入居者の元気の源になっているように感じる。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

ホームは系列の各施設とは連携をとって、よく入居者のニーズに応えているが、ホーム自体の地域との交流は限定的であり、ホームの存在や役割について繰り返し地域への浸透を図ることが必要ではないかと思う。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>利用者のニーズに応えることを第一に、入居者の心身の機能を低下させないように努力し、「こころ豊かにすこやかに」の理念の実現をめざしてしている。職員は入居者の性格や特徴をよく把握し、それぞれに応じた思いやりのある言葉かけや見守りで入居者の自立の支援を心掛けている。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>職員は利用者を介護するだけの一方的な関係ではなく、外食したり、家事を手伝ったりしてもらったりなど、職員と利用者が一緒に過ごし、共に支え合う関係を築くよう努めている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>入浴やトイレの誘導などはできるだけ同性介助を行うようにしている。部屋にカーテンをしたり、緊急時に対応できることも考え併せて、ドアを少し開けておくなど、プライバシーの保護に配慮している。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>定期的に内部研修を行っている。また、自治体主催の研修にも職員が参加している。その資料は他の職員も閲覧し情報を共有している。問題が起きた場合は、その都度、職員同士話し合うようにしている。</p>		